



日時：2016年9月12日（月） 14:00 - 18:00

場所：ベルサール神保町アネックス 1Fホール

アクセス：http://www.bellesalle.co.jp/room/bs_jimbochoannex/access.html

参加費：無料

定員：300名（定員になり次第、締め切らせていただきます）

申込方法：以下ホームページから申込をお願いします。

<https://impact.jst.go.jp/sympo/hharadako/>



ご挨拶

全世界にはネットワークに接続できるセンサデバイスが約2千億個もありますが、実際に接続されデータが活用されているデバイスはまだごく一部しかありません。しかも数百億のデータを数分単位で処理できる技術基盤に至っては皆無です。本プログラムは、現状のビッグデータの処理を遙かに凌ぐ「超ビッグデータプラットフォーム」を構築して、国や地域の公的医療データや連続計測データを活用した健康寿命延伸と医療費削減に役立てる「ヘルスセキュリティ」の実現や、1000台規模の工場群をつなげて、工場群へのサイバー攻撃を防ぎながら生産性と利益向上を支援する「ファクトリセキュリティ」という社会応用を目的として開発を進めます。

プログラムがスタートした今、キックオフシンポジウムでは現在のプログラムの計画をご紹介し、皆様から多くのご意見をいただくことでプログラムへフィードバックし、より良いプログラムにしていきたいと考えております。皆様の多数のご参加をお待ちしております。

ImPACT プログラム・マネージャー 原田博司

プログラム(予定)

※講演者、題目、時間は変更となる可能性があります。ご了承ください。

14:00 ~ 14:20	開会挨拶・プログラム全体説明	原田 博司
14:20 ~ 15:40	プロジェクト紹介	各プロジェクト・リーダー
	① 超ビッグデータ処理エンジン	喜連川 優 東京大学 生産技術研究所 教授
	② 超ビッグデータ創出ドライバ	原田 博司 京都大学 工学部 教授
	③ ヘルスセキュリティ	永井 良三 自治医科大学 学長
	④ ファクトリセキュリティ	早川 孝之 三菱電機 情報技術総合研究所 統轄
15:40 ~ 16:00	休憩	
16:00 ~ 17:40	パネル討論	モデレーター：望月 洋介 日経BP社 執行役員 パネリスト：各プロジェクト・リーダー、 小谷 卓也 日経BP社 日経デジタルヘルス 編集長 大石 基之 日経BP社 日経エレクトロクス 編集長
17:40 ~ 17:50	来賓挨拶	久間 和生 総合科学技術・イノベーション会議 議員
17:50 ~ 18:00	閉会挨拶	原田 博司

問い合わせ

国立研究開発法人 科学技術振興機構

革新的研究開発推進室 原田（博）PM キックオフシンポジウム担当

E-mail：impact-hhr@jst.go.jp（タイトルを「キックオフシンポジウムの件」としてください）

